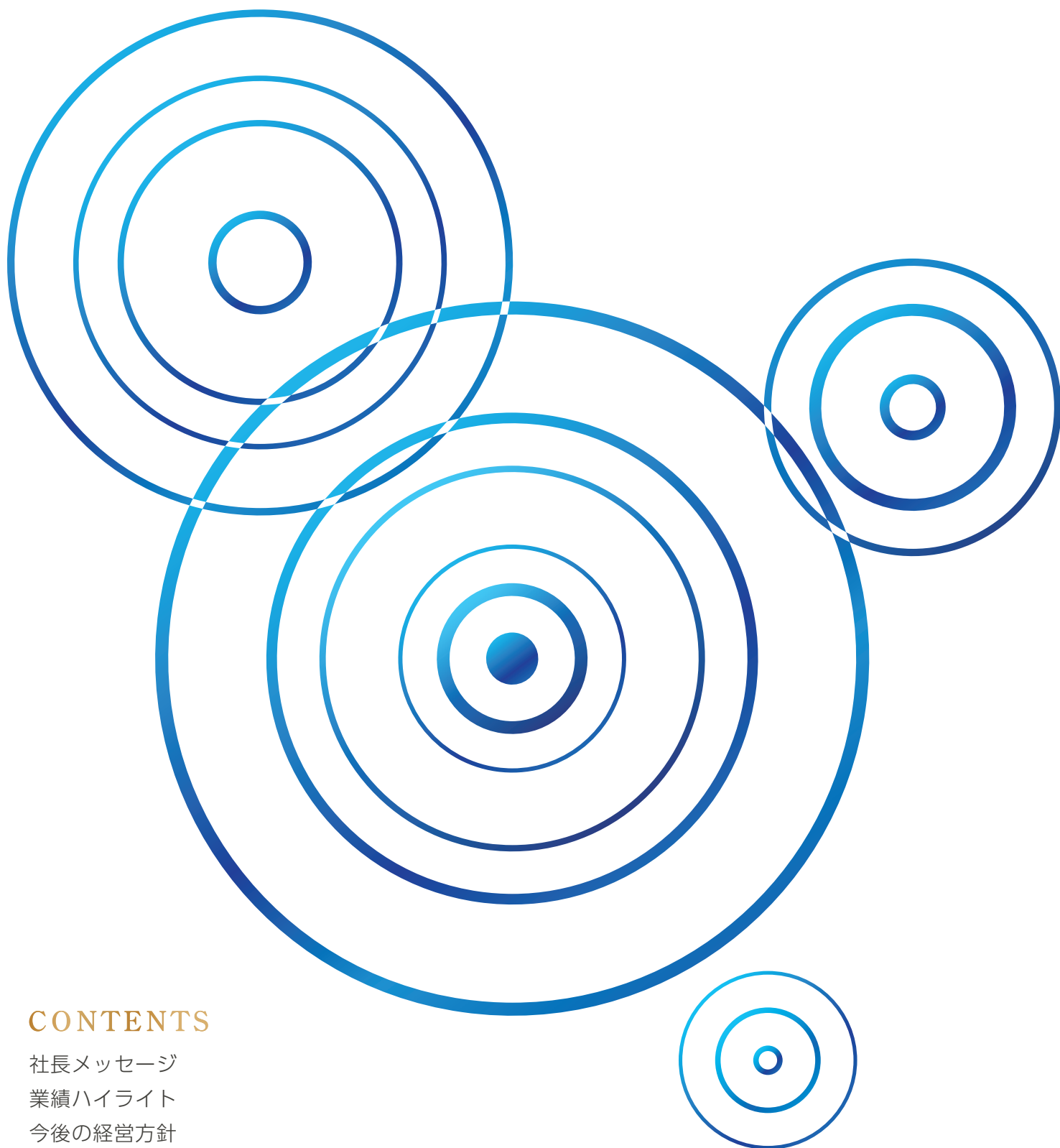


2021年3月期

ビジネスレポート

50th
Anniversary
SINCE 1970
and always will be



CONTENTS

社長メッセージ

業績ハイライト

今後の経営方針

トピックス

株主スクエア

コーポレートデータ

証券コード: 9640

株式会社 セゾン情報システムズ



代表取締役社長 内田 和弘

平素は格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申しあげます。
当社は、今年度から創業100年となる2070年を見据え、グローバルで存在意義・価値ある事業会社創りを本格的にスタートします。
当社の強みであるファイル連携・データ連携ソリューションを活かした、次世代グローバルリンクサービスプラットフォーム「HULFT Square」を提供します。この新たなプラットフォームは、国や地域を超えて様々な人やモノ、企業と企業がデータを通じて繋がることで、新たな価値の発見や、創造出来る可能性が広がります。今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

決算ハイライト

2021年3月期は、前年に比べて減収減益となりました。しかしながら、当初予想に対しては、売上高はフィナンシャルITサービス事業の新規サービスの進展等により増収、営業利益及び経常利益は前述の売上高増加による利益の押し上げや生産性向上の取組みが奏功し、増益となりました。

2022年3月期は、新たな経営方針を策定し、既存事業の徹底した生産性向上によって収益性の向上を実現するとともに、新たな市場・顧客へより収益性の高い事業を展開して、さらなる事業の成長を目指しております。

連結業績ハイライト

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	2020年3月期 (3月31日)	2021年3月期 (3月31日)
資産の部	19,577	20,471
流動資産	13,168	15,150
固定資産	6,409	5,320
負債の部	6,755	6,434
流動負債	6,162	6,101
固定負債	592	332
純資産の部	12,822	14,037

当期の連結業績のポイント

- 成長の軸に位置付けている
リンクサービスが進展
- 新規3象限売上高は、前年同期比 27.0%増、
通期計画に対する達成率 103.4%
- 当期純利益の増加等により、自己資本比率は
68.6% (前期末比+3.1pt) に増加

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2020年3月期	2021年3月期
売上高	23,560	22,499
売上総利益	9,295	9,528
販売費及び一般管理費	5,845	6,539
営業利益	3,449	2,989
経常利益	3,488	3,003
親会社株主に帰属する当期純利益	1,099	2,460

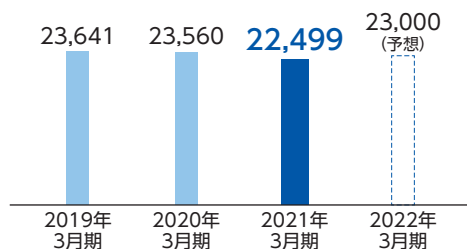
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

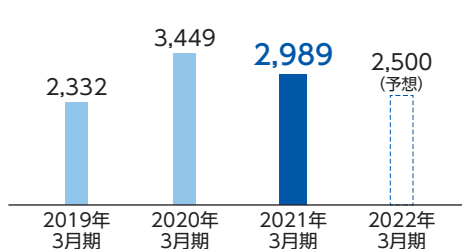
科目	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,423	4,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,428	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,260	△1,424
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	693	2,369
現金及び現金同等物の期首残高	8,867	9,560
現金及び現金同等物の期末残高	9,560	11,930

連結業績の推移 (単位:百万円)

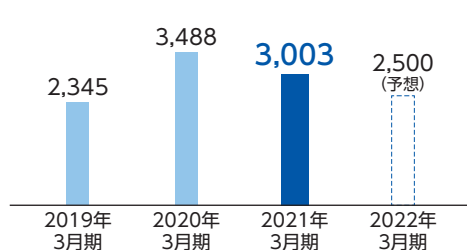
売上高



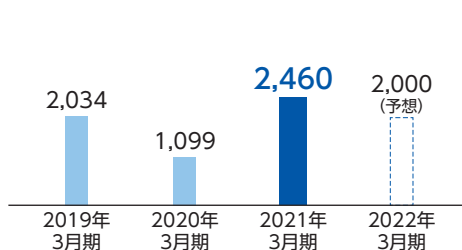
営業利益



経常利益

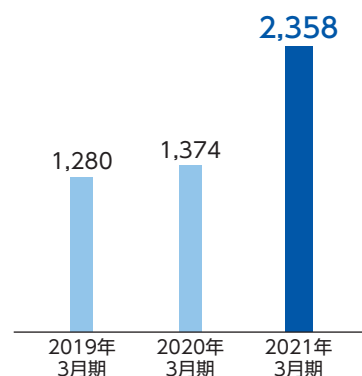


親会社株主に帰属する当期純利益



未来事業投資費用

当社は研究開発費、教育研修費、社内IT投資を未来事業投資費用と定め、事業モデルの転換と成長に向けた将来への投資をしています。



未来事業投資費用＝研究開発費＋教育研修費＋社内IT投資

今後の経営方針

MANAGEMENT PLAN

Vision

2024年のありたい姿

カテゴリートップの具現！

～特定分野において、**ダントツの存在感**を発揮する～



存在感の源となる姿

データエンジニアリングカンパニー

コア事業

収益安定基盤

- ・特定顧客ビジネス
- ・強み展開ビジネス

戦略事業

高付加価値・高収益性・高利便性、
変化に迅速柔軟に対応

- ・HULFT Business
- ・Linkage Business
- ・Data Engineering Business

・SDGsへの貢献

- ・提供するサービスは全て「as a Service」化
- ・HULFT Square 盤石な顧客基盤の確立
- ・HULFT製品群マーケットシェア世界第一位
- ・リンケージビジネスブランド確立
- ・国内外で入社希望者が殺到
- ・お客様満足度NO.1企業
- ・平均年収1千万円以上

経営テーマと戦略

テーマ	Link the Difference	
	Differenceは個性、特徴であり、それだけで価値がある。世界中のDifferenceを繋ぐことで、其々の価値が再認識され、新たな価値を生む。更にDifferenceを蓄積・分析することで全く新たな価値を創出して、未来社会においてもお客様のビジネスを支え続ける。	
戦略	新製品・サービス開発による新規ビジネス拡大	既存の強みを活かしたビジネス拡大
	時代環境に適応した利用価値のある新製品・サービス開発により、新規のお客様ビジネスを獲得、既存のお客様ビジネスシェア拡大を通じて収益規模拡大を図る。同時に、特定分野で培った既存の強みを活かして新規のお客様ビジネス拡大を図り、お客様基盤強化、収益向上を図る。	

方針と重点施策

1	New Business 創出	2	HULFT事業のグローバル化	3	サービス・製品企画開発力強化	4	事業活動品質向上
---	-----------------	---	----------------	---	----------------	---	----------

Focus

各ビジネスユニットの方針

HULFT事業

グローバルで認知されるデータエンジニアリング企業を目指し、AI・クラウド等ITイノベーションを活用したDXの取組みを強化し、HULFT Squareを軸とするサービス型ビジネスの推進に取り組んでまいります。

リンケージ事業

当社製品群を活用し、経営・業務のDX化を支援する「モダンマネジメントサービス」、DXプラットフォームを提供する「データ連携基盤構築サービス」、財務・経理のDX化を支援する「モダンファイナンスサービス」等の提供を行っております。サービスのさらなる拡充とリンケージサービスのブランド確立を目指します。

流通 ITサービス事業

流通小売、航空、保険事業のシステム開発から運用を担ってきた実績と先端技術を駆使し、新サービスの創出と幅広いお客様に向けたDX化の実現に努めてまいります。

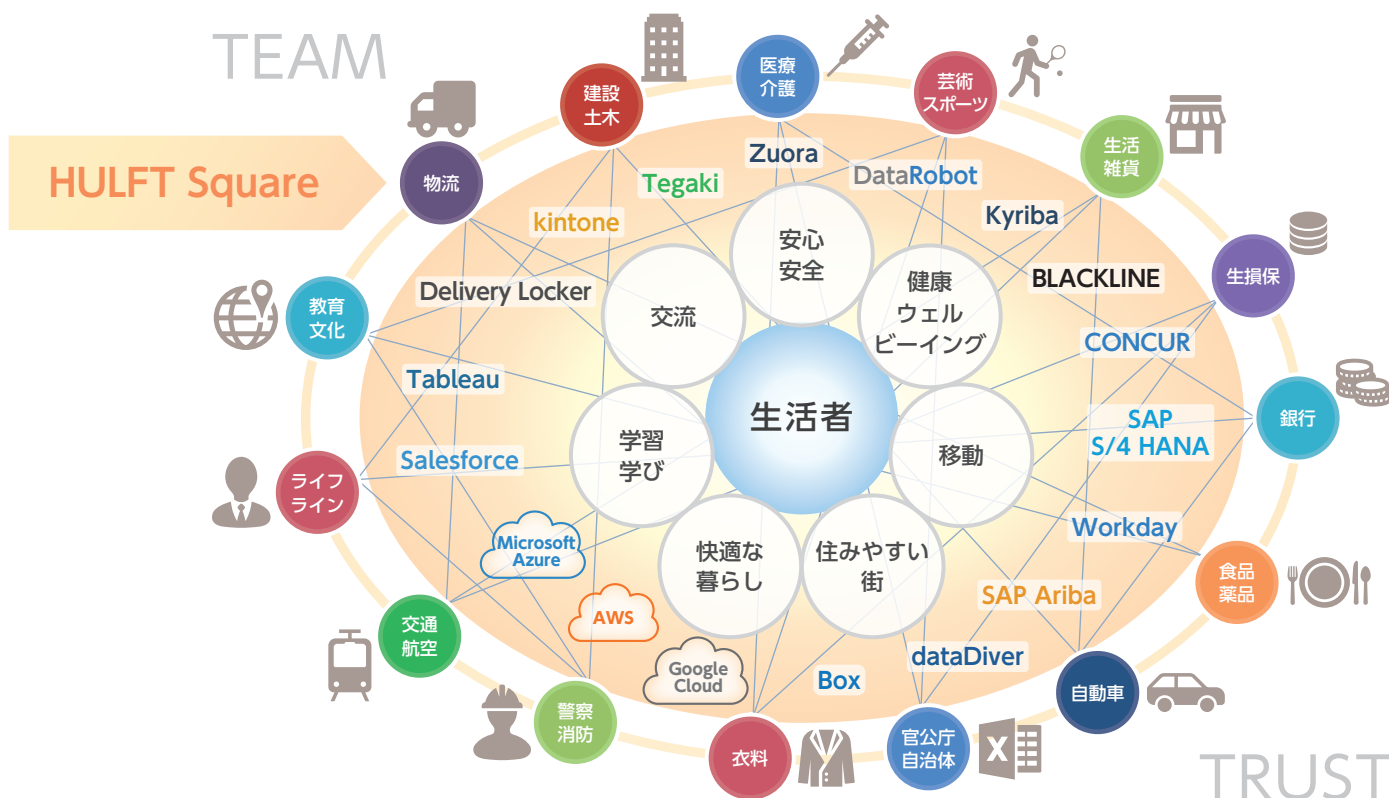
フィナンシャル ITサービス事業

クレジットカード会社のシステム開発から運用を担ってきた実績と先端技術を駆使し、事業品質の向上と新サービスの創出により、金融業界のDXをリードしてまいります。

当社は、基幹・業務システムとSaaS等の外部サービスをつなぎ、レガシーモダナイゼーション(注)を実現する次世代グローバルリンケージサービスプラットフォーム「HULFT Square」を事業化し、異分野連携を加速させ、お客様のDX推進を加速すると同時に、社会課題解決にも貢献できるサービス基盤を、2021年第3四半期(予定)に提供いたします。

(注)レガシーモダナイゼーションとは、古い設計や仕様などで構築された基幹システムを、新しい技術や製品を基盤としたものに置き換えることをいいます。

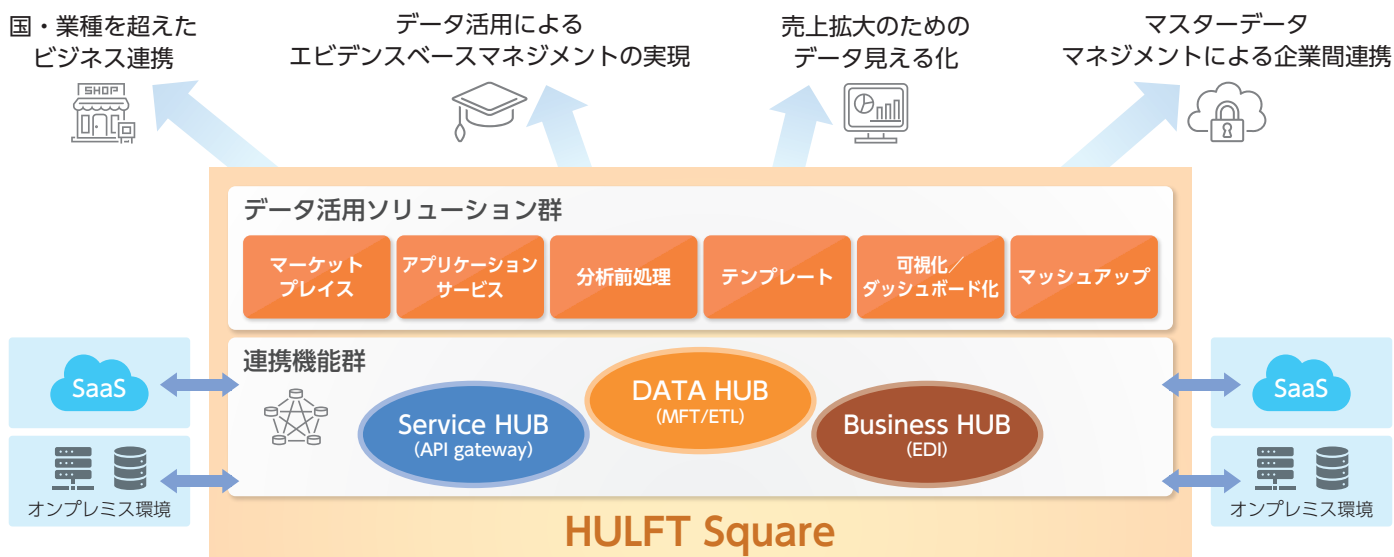
つながる価値、ひろがる未来。



▲ HULFT Squareのイメージ図

HULFT Squareとは

次世代グローバルリンケージサービスプラットフォーム



▲ HULFT Squareの構成要素

「HULFT」および「DataSpider Servista」は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標です。その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。

製品実績

3部門でNo.1を獲得



HULFT

※1



DataSpider Cloud

※2



DataSpider Servista

※3

※1 出典：株式会社富士キメラ総研「2004～2010パッケージソリューションマーケティング便覧」
「ソフトウェアビジネス新市場 2011～2020年版」
＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース＞2003年度実績～2019年度実績

※2 出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2020年版」
＜EAI/ESB SaaS・金額ベース＞2019年度実績

※3 2020年7月 日経BPコンサルティング調べ

HULFT販売実績

累計出荷本数 約 **221,900** 本

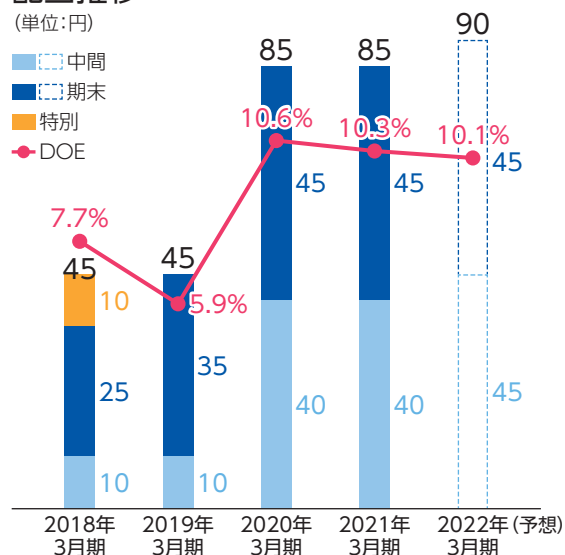
導入社数 **10,520** 社超

配当方針

- ① DOE (自己資本配当率) 10%を目安とする
- ② 自己資本比率50%～75%を維持し、最適資本構成を目指す
- ③ 通期見通しの約1/2を中間配当とする

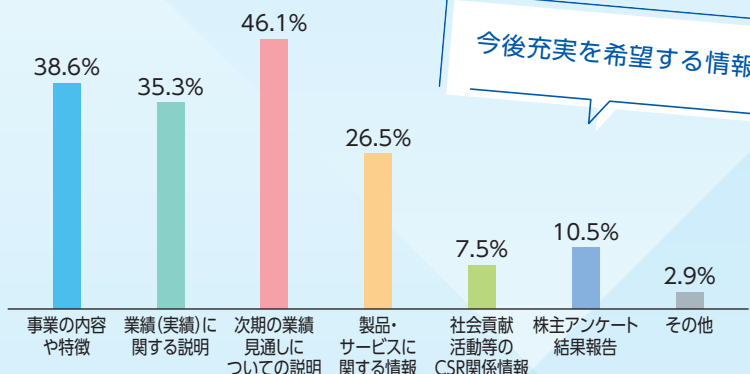
配当推移

(単位:円)



株主スクエア SHAREHOLDERS SQUARE

2021年3月期上半期ビジネスレポートのアンケートに、多くの株主様からご回答を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。株主の皆様から寄せられたご意見・ご感想につきましては、可能な限りお応えして、今後もより一層充実したビジネスレポートの作成に努めてまいります。以下では、お寄せいただきましたコメントを一部掲載しております。



今後充実を希望する情報

1 行政もIT活用が注力分野になっているので、その領域に取り組むセゾン情報システムズには今後も期待している。

この度、エストニア共和国統計局様に当社グループ製品「HULFT Integrate」をご採用いただくことになりました。また、当社はスクールコラボファンドの方針に賛同し、鎌倉市様に社会貢献活動の一環として寄付をいたしました。

今後も社会の発展のため、価値を提供し続ける企業として成長を遂げてまいります。

■ エストニア共和国統計局、HULFT Integrateを採用

https://home.saison.co.jp/company/news/pdf/2021/pr051021_k09XGmdf.pdf

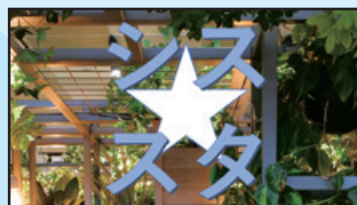
■ セゾン情報システムズ、鎌倉市の「スクールコラボファンド」に社会貢献活動の一環として寄付

https://home.saison.co.jp/company/news/pdf/2021/pr051121_An2N5K.pdf

2 セゾン情報システムズが私たちの生活にどう影響を与えているか教えてほしい。

当社では、小売業が安定して商品の供給・販売を行うために欠かせない取引先との受発注に関わるデータ連携システムや、クレジットカードに関わる重要な大量データを管理する等、当社のお客さま企業に対するサービス提供を通じて、生活者の暮らしを支える仕組みを提供しております。

■ YouTubeチャンネル「赤坂SISCOスタジオ(略してシス☆スタ)」の中で当社社員がお伝えしておりますので、ぜひご覧ください
<https://www.youtube.com/watch?v=iSwYOUK0T50>



シススタ

● 会社情報 (2021年3月31日現在)

会社概要

商 号 株式会社セゾン情報システムズ
SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.

設立年月日 1970年9月1日

資 本 金 13億6,768万7,500円

従 業 員 数 714名(連結)、661名(個別)

本店所在地 東京都港区赤坂一丁目8番1号

役員構成 (2021年6月23日現在)

代表取締役社長 内田 和弘 常 勤 監 査 役 三宅 信一*

取 締 役 梶野 恭輔 監査役(非常勤) 小川 憲久*

取 締 役 山本 善久 監査役(非常勤) 小林 隆博*

取 締 役 藤内 聖文 * 社外取締役、社外監査役

取締役(非常勤) 鈴木 孝一*

取締役(非常勤) 吉田 雅彦*

取締役(非常勤) 屋代 浩子*

取締役(非常勤) 末永 守*

● 株式情報 (2021年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株

発行済株式の総数 16,200,000株

株 主 数 3,555名

※株主数は自己株式分も含まれています。

大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社クレディセゾン	7,588	46.84
イーシーエム エムエフ	4,458	27.52
イーシーエム マスターファンド エスピーバイ ワン	857	5.29
株式会社インテリジェントウェイブ	500	3.09
大日本印刷株式会社	307	1.90
セゾン情報システムズ社員持株会	303	1.87
協和青果株式会社	171	1.06
吉田知広	149	0.92
富士通株式会社	80	0.49
みずほ信託銀行株式会社	60	0.37

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URL にアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9640

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝 (図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

✎ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 4月1日から3ヵ月以内

配当金受領株主 3月31日および

確 定 日 中間配当を行う場合は9月30日

単 元 株 式 数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話照会先 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
TEL: 0120-288-324 (フリーダイヤル)

株式会社 セゾン情報システムズ
<https://home.saison.co.jp/>

